

石巻宣教支援会 報告

～東北をキリストへ～

2019年3月 VOL. 6

石巻宣教支援会

主の御名を賛美します。

『わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。』

(詩篇 103:2)

いつも石巻宣教のためにお祈りくださり、御支援頂いておりますことを心から感謝致します。

石巻教会は、石巻駅と女川駅を結ぶ JR 石巻線の渡波(わたのは)駅から徒歩約 10 分の所にあります。駅には近いのですが、朝夕の通勤通学時間帯は 1 時間に 1 本、昼間になると 2 時間に 1 本と、電車数はとても少ないです。

ですからどうしても、移動手段は「車」になります。

石巻教会が借りている駐車場は、教会の向かい側の空き地で、礼拝、コンサート等の諸集会では欠かせない場所です。

昨年、ご高齢になられた土地所有者の方が土地を手放す、ということで「教会さんで購入してもらえないだろうか」と打診がありました。諸教会の皆様方の献金と祈りでお支えいただいている現状ではありますが、この地での福音宣教を考え、駐車場の土地購入をさせていただきたいと思えます。

これからの先方との話し合い、手続き等のためにお祈りください。

(高橋勝義)



[現在、駐車場として借りている土地です]

【祈りの課題】

1. 主が、まことの神を求める方々を起こして下さり、礼拝につながりますように。
2. 月二回(第一水曜日と第三金曜日)の「お茶っこ会」が用いられるように。
3. 「石巻イースターフェスティバル」のために。
(草加福音自由教会&川口福音自由教会の合同による主催)

石巻イースターフェスティバル
春のイースターをお祝いしましょう
子どもから大人まで楽しめます。
お待ちしております！

日時:2019年4月4日(木) 午後2時~4時
場所:石巻福音自由教会
石巻市三和町6-3 0225-25-1705
参加費:無料です!
内容:エッグハント(たまごさがし)
ゲームコーナー(射的・スーパーボールすくい・
スマートボール・スタンプラリー・他)



あの未曾有の大震災から8年。

甚大な津波被害を受けた石巻市の沿岸部、しかも人口が流出し過疎化が進んでいる地区に、主が教会を建ててくださいました。そして絶望と悲しみに飲み込まれたこの地の方々に、まことの希望を指し示すイエス・キリストを伝える使命をお与えくださっています。

今年も3月11日が巡ってくる中で、石巻福音自由教会では、3月9日の土曜日に、「希望のコンサート」を開きました。今年、神様が用意してくださったのは、世界中でイエス様を伝えておられる福音歌手の森祐理さんです。

森祐理さんは震災復興支援活動で東北に150回以上も足を運んでくださっているのですが、特に今回は、祈りの中で、慰めだけにとどまらず、はっきりとイエス・キリストを伝えるように、と神様に示され押し出されたのだそうです。

その歌とお証しは力強く、聖霊の力に溢れており、はっきりと福音を語ってくださいました。

明日がくるのは当たり前ではないのだ、と阪神淡路大震災で亡くなられた弟さんのお証しと共に「最後だと分かっていたら」という心に響く賛美も歌ってくださいました。

「あれが最後になるとわかっていたら、あなたをこの手に抱きしめて、愛していると伝えたことでしょうか…どうか、主よ、今日も一日 力の限り愛に生きられるように… ♪」

あちらでも、こちらでも涙、涙…。

しかし、溢れる涙は、素晴らしい歌への感動だけではなく、絶望の先にはっきりとイエス・キリストにある希望を見い出されたからだと確信します。

コンサートに来られた方々がしっかりと天国に行く切符を手握られ、ともに希望に向かって歩いて行けますように…。

☆出席者 54名



(高橋明美)

「お茶っこ会」

2019年3月22日(金)

一昨年2017年の11月にアメリカのサウスカロライナ州からビジョップ先生とゴスペルバンドが来てくださり「賛美礼拝」の時を持つことが出来ました。

あれから一年半が過ぎた今月(3/11)、ギルバート宣教師から「ビジョップ先生とゴスペルバンドが3/20に来日するのだが、集会が出来ないだろうか」と、電話で打診を頂きました。

ちょうどチーム来日中の3/22(金)は「お茶っこ会」の日でしたので、喜んでコンサートをお願いしました。感謝と同時に、私はこのことに神様の不思議な導きを感じていました。

というのは、震災から8年目の今月3月9日(土)は、「森祐理 希望のコンサート」でした。それで、第三金曜日の「お茶っこ会」を事前に第四金曜日(3/22)に変更していたのです。

大急ぎで簡単なチラシを作り、皆さんに案内配布させていただきました。

当日は強風の吹き荒れる中でしたが、皆さん、元気に集ってくださいました。

いつものお茶っこプログラムから始まり、その後、ゴスペルバンドの演奏に合わせ、「いつくしみ深き」と「驚くばかりの」を全員で歌い、それから、神様を讃える賛美を、時には手拍子をしながらかきました。ビジョップ先生が一曲ごとに賛美歌詞の意味を説明してくださったので、皆さん(英語なのに)うなずきながら聞き入っておられました。

アンコール曲の後は全員で「ふるさと」を歌いました。バンドのメンバーも日本語です。

メッセージは、ビジョップ先生にお願いしましたが、事前にテーマを知らせて欲しいと連絡がありましたので、祈りつつ「どうして、キリストを信じる必要があるのか」という題でお願いしました。前回、「私は東北人です」と自己紹介された通り、先生は流暢な日本語で「私は宗教を押し付けるのではありません…いのちと死の確実性ゆえにキリストを信じる必要がある事をお知らせするのです…」と、四つの観点から、なぜイエス・キリストを信じる必要があるのかを、分かりやすく、はっきりと語ってくださいました。



皆さん、真剣に耳を傾けておられました。お茶っこ会に来られている御婦人方の中には、コンサートにも来られ、アンケートの「イエス・キリストを信じますか」に「○」をつけられた方々が何人もおられます。

震災から8年が過ぎ、9年目に入りました。普段の生活に戻ってきた、ということはお寺との関わりも戻ってきたことを意味しています。皆さん、家やお墓を守る世代の方々なのです。

この日は、お彼岸の最中でしたが、そんな中でも、この「お茶っこ会」に来てくださった方々がイエス様を信じる必要を自分の事として受け取られ、神の家族になれますように。

☆出席者 29名

(高橋勝義)

☆石巻宣教支援会へのご支援と、お祈りを心から感謝します。